

平成28年度第2回放送大学学園契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成29年3月24日(金) 放送大学東京文京学習センター 会議室1
委員長 委員 委員	山田 幸太郎 (山田会計事務所・公認会計士) 関口 一材 (放送大学学園・監事) 石井 尚子 (放送大学学園・監事)
審議対象期間	平成28年4月1日 ~ 平成28年12月31日
審議事項	1. 平成28年度(平成28年4月~12月)の契約状況について 2. 公共サービス改革法に基づく市場化テストの対応等について 3. 平成28年度契約のうち2年連続で一者応札となった案件の個別ヒアリング(今後の改善の方策の検討等) (1)これまでの契約監視委員会におけるフォローアップ対象事業 (2)個別に選定したヒアリング事業
委員からの意見・質問、それに対する回答等	下記のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし

意見・質問	回答等
1. 平成28年度契約状況について なし	
2. 公共サービス改革法に基づく市場化テストの対応等について 2つの業務を1つの契約で行っている場合、競争性確保等の観点から、業務を分割できないかという質問は、この案件に限らず他の案件においても出てくるのではということが考えられる。本当に分割できないとする説明と、分割した時のメリット・デメリットの比較については、他の案件においてもきちんと説明できるように整理しておくべきである。	ご指摘について、今後の契約事務における留意事項として、関係者に周知するなどして対応することとしたい。
3. 平成28年度契約のうち2年連続で一者応札となった案件の個別ヒアリング(今後の改善の方策の検討等) (1)これまでの契約監視委員会におけるフォローアップ対象事業 「単位認定試験問題等の印刷製造、仕分及び通信指導問題等の印刷製造」 これまでの当委員会での議論の際の意見にもあった「仕様の見直し」、すなわち、学園側で仕様を決めて一般競争にかけるとはならず、他の業務のやり方、もっといい仕様そのものを提案してもらうために企画競争の実施を考えた方がよいのではないかと。改めて検討してみたい。 (2)個別に選定したヒアリング事業 「マークシート読取処理等業務請負」 現状の業務の実施方法等の実情を踏まえると、アウトソースにより行っている業務をインソースすることも可能であると思われる。業務のやり方を変えて、学園としてそんなに人手がかからず実施可能であれば、検討の余地は大いにある。インソースによる学園職員側の業務負担の増加や次期機器の更新等のタイミングも含め、本件業務の今後の進め方についてよく検討してもらいたい。 業務に必要な機器の処理能力や互換性、請負者における実績の要件など、競争参加のための要件が新規参入者の阻害要因となっている可能性があると思われる。	仕様そのものの提案型による企画競争が良いのか、あるいは現在の仕様書を公開した上で、広く業者に見ていただき、仕様書についてのパブリックコメントを求めるやり方がよいのかなどについては、今後検討した上で実施して参りたい。 ご指摘を踏まえ、担当課等において検討することとしたい。 ご指摘については、29年度の契約手続において反映できる部分は反映し修正することとしたい。